

道 徳 学 習 指 導 略 案

1年1組 28名 指導者 小 峯 三 朗

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「問い直す」活動において、「ペアで」「みんなで」で行う対話活動の手立ては、道徳的価値を自分とのかかわりで捉え、効果的に道徳的価値の理解を深めることができたか。
- 子どもと進める対話活動を用いた道徳の時間の構築は、主体的に道徳的価値を自分とのかかわりで考えたり、自分の生き方について考えたりすることに効果的であったか。

1 主 題 名 みんながにこにこ（資料名「みんなのこうえん」〈読み物—学研教育みらい〉）

2 ね ら い

みんなが使う場所や物を気持ちよく使い、約束やきまりを守ろうとする心情を育てる。

（4－① 公徳心、規則の尊重）

3 展開に当たって

「見つめる」活動では、子どもたちがよく使う場所や物の写真を見せることで、自他共に気持ちよく使うにはどのような気持ちが必要なのかを考えることができるようにする。

「問い直す」活動では、まず、「一人で」、読み物資料「みんなのこうえん」の挿絵から、公園をみんながにこにこでできる使い方をしている人とそうでない人の違いをはっきりさせるために、赤と青で囲む仲間分けをさせる。その際、「ペアで」対話活動をする時、赤と青に仲間分けした理由をはっきり言うことができるようにする。次に、「ペアで」対話活動を行い友達の感じ方や考え方を聞いたり自分の感じ方や考え方を伝えたりすることで、お互いの感じ方や考え方を広げたり深めたりすることができるようにする。更に公園をみんながにこにこでできる使い方をしていない箇所を取り上げ、どうすれば気持ちよく使えるようになるかを具象で考えさせる。そして、その具象に共通する抽象的な道徳的価値の意義や心構えを子どもと一緒に考えることで、道徳的価値の理解をより深めることができるようにする。

「振り返る」活動では、「心のノート」を活用することで、これまでの自分の生き方やこれからの自分の生き方について考えることができるようにする。

「あたためる」活動では、子どもたちがみんなで使う物を大切にしたり約束やきまりを守って遊んだりしている姿をICT機器を活用し、視聴させることで、これからもみんながにこにこできるように、約束やきまりを守っていこうとする実践意欲を高めることができるようにする。

4 価値分析 [内容項目4－① 公徳心・規則の尊重]

道徳的価値の意義（よさ）		
【自分に対して】	○ まわりのことを考えて行動できるようになる。	（自己の成長）
	○ 自分を認めてもらえる。	（他者からの称賛）
【相手に対して】	○ 自他共に気持ちよく生活できる。	（楽しい生活）
	○ 望ましい人間関係の構築ができる。	（人間関係の深まり）
【社会に対して】	○ 社会のきまりを守り、義務を果たすことができる。	（秩序ある生活）

〈各学年の指導内容〉

高学年：公徳心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。
【指導の具体的内容】～法やきまりを大切に～ □社会のマナーを守ること □いろいろな法やきまりを守ること □権利があり義務があること
中学年：約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。
【指導の具体的内容】～約束やきまりを守るから仲良く生活できる～ □安全に過ごすための約束やきまり □人と気持ちよく過ごせるための約束やきまり
低学年：約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う。
【指導の具体的内容】～みんなで楽しく気持ちよく～ □自分とみんなが楽しく過ごせること □みんなが使う場所、使う物を気持ちよく使うこと

5 本時の展開

〔 〕 子どもの意識

指導の手立て

※ 評価

活動	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
見つめる	5	みんな	1 みんなが使う場所や使う物にはどのような場所や物があるか話し合う。 - みんな公園で遊んでるよ。 - 福祉館に行ったらみんないたよ。 - 学校のフラフープやブランコでよく遊んでいるよ。 みんながにこにこでいれるには、どのような気持ちが必要だろう。 2 司会団が、めあてや本時の学習の流れを確認する。	公園や福祉館などの写真
問い直す	32	みんな 一人で ペアで みんな	3 資料「みんなのこうえん」を見て、話し合う。 (1) 公園をみんながにこにこでできる使い方をしている人としていない人を分ける。 (2) 公園をみんながにこにこできない使い方をしている人は誰で、どうしてできないのか考える。 - すべり台の使い方が反対だよ。 - ごみをごみ箱に捨ててないよ。 - ブランコの取り合いをしているよ。 - 迷惑をかけているよ。 - きまりを守っていないよ。 (3) 公園をみんながにこにこでできる使い方をしている人は誰で、どうしてできたのか考える。 - ごみをちゃんとごみ箱に入れているよ。 - 挨拶しているよ。 - 公園を使う人の気持ちを考えているよ。 (4) みんながにこにこでいられるには、どのような気持ちが必要だろう。 ※ 「ペアで」の活動を充実させるために、「一人で」の活動で、色分けしたことやその理由をペアの相手にしっかり伝えることを助言する。また、対話が滞っているペアには、積極的に教師がかかわり、「分ける」思考ができるようにする。 子どもから出された具象から、それに共通する抽象的なキーワードを子どもと一緒に考えることで、みんながにこにこでいられる気持ちについて理解することができるようにする。	「みんなのこうえん」のワークシート 赤えんぴつ 青えんぴつ
振り返る	5	みんな	4 「心のノート」P74～P75を読み、自分は、みんなで使う場所や物をどのように使っていたかを振り返る。 - これも大事なきまりだな。守るようにしよう。 - これから気持ちよく使いたいな。 5 今日の学習で気付いたことを振り返る。 - 迷惑をかけないようにしたいな。 - きまりを守ることは、とても大切なことなんだな。 ※ 「振り返る」活動における子どもの考え方を机間指導において次の視点で評価する。 ア 道徳的価値についての理解をより深めることができたか。 イ これまでの自分とのかかわりで考えることができたか。 ウ これからの自分の生き方について考えることができたか。 司会団がフロアーに、本時の学習を通しての感想や、新しく気付いたことや分かったことなどを発表するように伝える。	心のノート
あたためる	3	みんな	6 教師の説話を聞く。 - みんなきまりを守っているんだな。これからも続けよう。 - きまりを守るって気持ちがいいね。 子どもたちがみんなの使う物を大切にしたり、学校や生活における身近なきまりを守ったりしている写真を見せることで、みんながにこにこでできるようなよりよい生き方をしようとする意欲をあたためることができるようにする。	ICT 機器